

関西経済研究

担当者 石川 雄一

開講時期 前期 単 位 2

●講義の概要

近代においては、政治の東京に対して経済の大阪といわれたように、関西経済は大きな地位を占めていた。またその中心都市である大阪は「東洋のマンチェスター」とも称されており日本の産業革命発祥の地とも謳われていた。

現在、東京一極集中が進展するなか関西経済も大きく変貌した。関西経済をマクロスケールの視点とミクロスケールの視点にわけて、関西経済の特色や変遷、今後の課題を講義する。

●講義の到達目標

- ① 関西経済の地理的特色を理解する
- ② 関西経済の歴史・文化的背景を理解する
- ③ 関西経済の現状を理解する
- ④ 今後の関西経済について予見する知識を蓄積する

●講義計画

第1回：はじめに

第2回：日本の地方区分と関西

第3回：地形図からみた大阪周辺の変化

第4回：日本の産業構造の変化と関西 東京一極集中と関西

第5回：日本の産業構造の変化と関西 製造業、小売業の立地変化

第6回：課題発表

第7回：交通網の発達

第8回：関西における製造業の立地

第9回：関西における小売業の立地

第10回：関西における観光産業の動向

第11回：課題発表

第12回：関西経済トピック1 都市構造

第13回：関西経済トピック2 産業

第14回：関西経済トピック3 観光

第15回：まとめ

●成績評価基準と方法

授業への参加度とレポートの内容により総合的に評価します。

評価の割合は、

授業への参加度：30%

（とくに最終回では、講義の到達目標の④について質問し、評価します。）

レポートの内容：70%

（3回予定のレポート提出では、講義の到達目標の①から③の達成度を評価します。）

●テキスト又は参考文献

〔テキスト〕使用しない。資料を配布する。

〔参考文献〕

・一般財団法人 アジア太平洋研究所編

『アジア太平洋と関西 関西経済白書 2019』2019年(2,500円)

・山口覚他著『図説 京阪神の地理』ミネルヴァ書房、2019年(2,500円)

●受講上の留意点